

12. 医学研究科

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 35)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 35)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 平成 29 年度に京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻（ジョイント・ディグリープログラム）を設置し、マギル大学との共同開設科目を開講した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 高い質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。
学生が受賞した学会賞等は、平成 30 年度に 36 件となっている。

〔優れた点〕

- 学生が受賞した学会賞等は、平成 30（2018）年度に 36 件に上っている。